



大阪市立

小路小学校

校長名 湊 健次

所在地 〒544-0002 大阪市生野区小路2-24-40

電話番号 06-6752-0061

FAX番号 06-6751-8751

HPアドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671489>

QRコード



標準服

標準服はありません

重点目標

- 豊かな心をはぐくむ教育
 - ・安全で安心できる学校教育環境の実現
 - ・音楽を親しむ機会の創出
 - ・外国人教育（国際クラブ・国際理解教育）の推進
- 学力向上に向けた教育
 - ・ICTを活用した教育の推進
 - ・思考力・判断力・表現力の基盤となる言語力の育成
 - ・専門性を高め、指導力を高める研修

主な学校行事

4月	入学式
5月	家庭訪問 校外学習 土曜授業（防災・引取訓練）
6月	臨海学習
7月	期末懇談会 ラジオ体操（PTA行事）
8月	小路たそがれカーニバル（地域行事）
9月	PTA校庭キャンプ（PTA行事） 学校公開 修学旅行
10月	運動会 校外学習 学習参観 就学時健康診断 国際理解発表会
11月	作品展
12月	期末懇談会 クリスマス会（地域行事）音楽発表会（土曜授業）
1月	学習参観
2月	小路子マダン入学説明会 学校保健委員会 卒業遠足 小路ふゆまつり（PTA行事）
3月	卒業を祝う会（児童会行事） 卒業式

教育目標

「つながり合い、認め合い、学び合う教育の創造」

校訓

- 心も からだも すこやかな子ども
- 何でも 進んでする子ども
- 思いやりのある子ども

令和5年度全国学力・学習状況調査

平均正答率（％）

国語	算数
59	52

結果概要

大阪市の平均正答率に比べ、国語科においては12ポイント、算数科においては10ポイント下回る結果となった。昨年と比べて算数科において若干の上昇は成果である。国語科の平均無回答率においては、大阪市に迫るほどになった。特に A 話すこと・聞くことが大阪市と比較して－10.7％と低かったがB書くことでは、大阪市の平均を今年は 6.7％ 下回るとどまった。算数の平均無回答率は、大阪市に迫るほどになった。Dデータの活用の領域の正答率が特に低く－12.8ポイント下回った。昨年度と比べて算数科において若干の上昇は、基礎基本の定着を身につけるための放課後学習やモジュール学習の成果である。今後も「主体的・対話的・深い学び」となる授業で思考力・判断力・表現力を育てる取り組みを進め無回答率が減り自分の考えを文章で表現できる児童を授業で育てる。また、AIドリルなどを活用を通して基礎基本の定着を図る。

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

種目別平均値

性別	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(秒)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	合計得点
男子	15.46	20.04	32.13	39.25	49.79	9.40	143.79	19.42	51.63
女子	15.33	17.83	38.00	38.25	34.96	10.31	130.38	14.13	51.52

結果概要

男子では「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」でTスコアを上回った。特に「20mシャトルラン」は大きな成果が見られた。逆に「握力」「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅跳び」で課題が見られた。本校は「粘り強さ」に成果が見られ「体の柔らかさ」「タイミングの良さ」の運動特性を伸ばすことでよりバランスの取れた成長を促すことができる。女子では、「ソフトボール投げ」でTスコア50を上回った。逆に「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」「50m走」については課題が見られた。「力強さ」に成果がみられるものの「すばやさ」「粘り強さ」「タイミングの良さ」「体の柔らかさ」の運動特性を伸ばすことでバ

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

国語科については、漢字の定着を図るために、朝学や家庭学習を工夫したり、AIドリルを活用していく。また、授業の中で自分の考えをまとめ、書く活動を積極的に取り入れ、交流することで、苦手な児童も書けるように指導していく必要がある。これまでの読書活動や新聞を活用した取り組みは、一人一台端末を使った「デジタル新聞」も併せて今後も継続していく。

算数科については、国語科同様に自分の考えを持ち、意見交流ができるような「主体的で対話的で深い学び」となるような授業改善を組織的に取り組む。そのような授業改善をすることで、児童の「思考力・判断力・表現力」を育てることにつながる。また、一人一台端末を有効に活用して意見交流をしたりひとりひとりの児童が自分の学びをふりかえりを行う授業を日常化したりしていくことが必要である。算数科の基礎学力の定着を図る取り組みは、今後も継続していく。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

年体力テストの柔軟性（長座体前屈）の数値が低く、校内調査での「身体をしっかりと動かしている」に対する肯定的な回答が7割に満たないことが本校の課題であった。そこで柔軟性を高めることを学校全体の目標とし、体育科の授業の始めや終わりにはそれに関する運動を取り入れるようにしてきた。また、学級での「みんな遊び」を工夫し児童が運動に親しめるような取り組みをしたり、集会・運動委員会が中心となって、20分休みに「大縄大会」を企画し、外でみんなで楽しめるようにした。3年生から6年生の経年調査の児童質問紙における「運動が好き」と最も肯定的な「好き」と回答する児童は、69.0％となり令和4年より下がった。今後どの学年においても「運動が好き」と回答する児童の割合を増えるように取り組みを進めていく。

校長先生のメッセージ

明治6年11月15日に設立し、令和5年度には創立150年目を迎えた歴史の古い学校である。地域とのつながりが深く、「子どもは地域の宝」を合言葉に、学校、保護者、地域一体となって子どもを育てていこうとする姿勢に支えられた学校である。

一人一台タブレット端末やICT機器、AIドリルの積極的な活用を図ったり、Teamsによる双方向通信の取組を推進したりすることにより、ICTを活用した学習活動にも積極的に取り組んでいる。また、音楽発表会や音楽集会などの音楽活動にも力を入れ、心の教育にも積極的に取り組んでいる。

運営に関する計画

計画のエッセンス

- ポジティブ行動支援を研究し、子どもの自尊感情を高める
- 基礎基本の学力の定着と自己肯定感を高め、学ぶ意欲を高める授業改善
- 音楽教育と生活指導の充実による「思いやりのある子ども」の育成

中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする
- 令和6年度末の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校の年度目標

- 令和6年度末の校内調査における「三つの花を咲かせることができたか」に対して、肯定的な「できた」と回答する児童の割合を80%以上にする。

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

本校では、日々の音楽科の授業に加え、音楽発表会(学年ごとの演奏や全校合唱など)や「『本物』に触れる音楽鑑賞会」など様々な取組を行っている。また、課外活動として「小路鼓笛隊」があり、活発に活動している。このような音楽活動により、子どもたちに「できた!」「楽しい!」という達成感、充実感を味わわせ、友達とかかわり合い、高め合う学びの場とすることができている。



特色ある学習活動

本校には国際クラブ(民族学級・中国学級)があり、学校全体で国際社会を生き抜くための国際理解教育にも取り組んでいる。さらに、近年中国をはじめ様々な国や地域にルーツを持つ子どもが入学しており、これからの国際社会の縮図として多文化共生教育にも取り組んでいる一方、日本の伝統的文化の学習にも力を入れている。また、本校には日本語教室が設置されており、本校の子どもだけでなく日本語指導の必要な他校の子どもたちも学んでいる。



家庭・地域等との連携

学校施設を利用した校庭キャンプや冬まつりなどのPTA主催行事や、小路たそがれカーニバルなどの地域主催行事などが多く行われている。コロナ禍で活動が難しい中でも、感染対策を取りながら、「星空映画観賞会」や「ラジオ体操」などが工夫して実施され、「子どもたちのために」を合言葉に熱心な活動が行われてきた。また、地域の方々をゲストティーチャーに招いた取組なども多く、PTAや地域とのつながりが深い。さらに、登下校の見守り活動だけでなく、集団下校時の安全確保のための協力など、本校は「子どもは地域の宝」と子どもたちを守り、そして支えてくださる地域にある学校である。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を32%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度のポイントを維持する。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和6年度小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの対象学年も前年度より2ポイント減少させる。

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標(小学校)

【ICTの活用に関する目標を設定する】

- 授業日において児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の90%以上にする。
- オンラインによる学習を年に2単位時間以上実施する。
- 令和6年度末の校内調査における ICT に関する項目に8割以上「できる」と回答した児童を90%以上にする。

特色ある学習活動

スキルアップテストや日本語検定、子ども新聞を使った学習の取組

本校では、基礎基本の学力の定着を図るため、朝学の時間やモジュールタイムを活用して、算数の基礎計算や日本語検定に向けた学習、子ども新聞を読んで自分の考えをまとめる学習などに取り組んでいる。また、新聞閲覧コーナーや読書コーナーを教室前に設け、自由に読めるようにすることで、子どもたちが言葉や文章に触れる機会を多くもてるよう努めている。



特色ある学習活動

豊富な課外活動

本校には伝統ある課外活動クラブ「小路鼓笛隊」があり、体育施設開放事業として放課後の学校施設を利用したサッカー、ミニバスケットボール、ドッジボールも行われている。また、進学中学の東生野中学校グラウンドではラグビースクールも行われている。多くの子どもたちが参加しており、多様な活動に主体的に参加することができる。

